

会 議 録

1 会議名

第13回柿崎区地域協議会

2 議題(公開・非公開の別)

(1) 地域活動支援事業成果報告(公開)

- ・ 親子教養講座事業
- ・ ドーム周辺花いっぱい事業
- ・ かきざきデザイン・コンシェルジュ事業
- ・ 柿崎まちづくりカレンダー作製事業
- ・ 景家くん・花ちゃんマスコット人形作製事業

(2) 市からの報告(公開)

- ・ 地域協議会委員公募結果について

(3) その他(公開)

3 開催日時

平成28年3月28日(月)午後4時00分から午後5時05分まで

4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ305・306・307会議室

5 傍聴人の数

5人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者(傍聴人を除く。) 氏名(敬称略)

- ・ 委員：佐藤 健(会長)、神岡八江子(副会長)、宮澤安雄(副会長)、金子正一、木下高重、小出優子、小関茂夫、小松美明、小山貞榮、白井一夫、白井秀雄、曾田良治、長井泰雄、長井洋一、吉村 登、渡邊征雄
- ・ 事務局：柿崎区総合事務所 早川寿男所長、横田一次長、永春勲参事、大場正弘総務・地域振興グループ長、大橋靖夫産業グループ長、嶋田祐司建設グループ長、中村稔市民生活・福祉グループ長、唐澤幸代班長、田鹿成美主事、小田一輝主事(以下グループ長はG長と表記)

8 発言の内容(要旨)

【横田次長】

- ・ 会議(地域協議会)の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【佐藤会長】

- ・ 会議録の確認：長井泰雄委員に依頼
- ・ 次第3 地域活動支援事業成果報告について事務局に説明を依頼

【唐澤班長】

提案団体に説明を求める。

【上越市立柿崎中学校 PTA】

～ 事業実績報告書により説明 ～

【唐澤班長】

委員の皆様から何か質問はあるか。

【木下委員】

私の家の近所に中学校3年生になる生徒がいるが、この事業をととても楽しみにしていた。子どもたちにも非常に良い勉強になると思うので、ぜひこれからも続けてもらいたい。

【唐澤班長】

他に質問を求めるが無いので、「ドーム周辺花いっぱい事業」を行った花うえの会に説明を求める。

【花うえの会】

～ 事業実績報告書により説明 ～

【唐澤班長】

委員の皆様から質問を求めるが無いので、「かきざきデザイン・コンシェルジュ事業」を行った柿崎わいわいしゃべろう会に説明を求める。

【柿崎わいわいしゃべろう会】

～ 事業実績報告書により説明 ～

【佐藤会長】

地域活動支援事業を利用して、2年続けて東北へ視察に行っているが、成果としてどのようなことが挙げられるか。研修終了後、報告会などの開催ができなかったものか。

【柿崎わいわいしゃべろう会 佐藤さん】

男女共同参画推進センターの相談員の方から、東日本大震災において被災地の相談員として活動した経験談をお聞きしたことが契機となり提案した事業である。震災の現状を広く地域の皆様にも知っていただきたいと考え、実施した。今回は1次募集で23名の応募があり、非常に好評だったと感じている。

【佐藤会長】

収支報告をみると、単なる旅行ではないかと感じさせる内容である。2年間の成果はどうだったのかお聞きしたい。

【柿崎わいわいしゃべろう会 小出さん】

柿崎区だけではないが、実際に被災地に行ってみたいという方がたくさんいた。配布したアンケート結果を見ていただくと分かると思うが、研修に参加することで、被災地を応援したいという気持ちが芽生えている。

【柿崎わいわいしゃべろう会 佐藤さん】

被災地へ行きたいという方がたくさんいることが成果なのではないかと考えている。研修に参加し、被災者に寄り添って支えたい、あるいは、災害に備えて何とかしなければ

ばならないという気持ちが大きくなったようだ。

【木下委員】

そのように感じたことを、地域の人に広く発表する場が無ければ、柿崎区のためにはならないのではないかと。参加した人しか経験できないような事業ではいけないと思う。研修に参加しなくても、報告会等を通して地域の方々に知ってもらう機会が必要なのではないか。まとめた書類があるのであれば、事前に目を通しておきたかった。

【柿崎わいわいしゃべろう会 佐藤さん】

貴重な意見であるので、次回の総会において検討したい。

【渡邊委員】

私もこの東北視察の参加者である。私の自宅は、柏崎刈羽原子力発電所から半径 25.4 キロメートルで、30 キロ圏内を十分満たしている。私が育ったこの地と、南相馬市の被災地とを重ね合わせてみたときに、他人事ではないように感じた。研修で見てきたこと、感じたことを大勢の人に知らせることが重要になってくると思う。

柿崎区は半径 30 キロ圏内に入るということで、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働をどのようにするのか、今後検討したいと考えている。

【小出委員】

研修の報告書は作成している。必要であれば配布するので申し出て欲しい。

【唐澤班長】

発表時間が過ぎているので、この辺りで終了としたい。わいわいしゃべろう会の皆様は、出された意見を次年度の事業に活かしてもらいたい。

続いて、「柿崎まちづくりカレンダー作製事業」並びに「景家くん・花ちゃんマスコット人形作製事業」を行った、柿崎まちづくり振興会に説明を求める。

【柿崎まちづくり振興会】

～ 事業実績報告書により説明(柿崎まちづくりカレンダー作製事業) ～

【唐澤班長】

委員の皆様から質問を求めるが無いので、次の発表を求める。

【柿崎まちづくり振興会】

～ 事業実績報告書により説明(景家くん・花ちゃんマスコット人形作製事業) ～

【佐藤会長】

市民の皆様はこのキャラクターが浸透していないように思う。子どもたちから覚えてもらいたいと思うので、小学校に配置するなど考えてもらえないか。

【柿崎まちづくり振興会】

考えていきたいと思う。区内には3つの小学校があるが、期間を決めながら設置したい。

【小出委員】

事業結果概要書に記載してあるが、設置されている所が10か所ということで、残りの5体のマスコット人形はどこにあるのか。

【柿崎まちづくり振興会】

この概要書にある他に、清水フード、観光コンベンションセンター、マルカ、この事業を提案する契機となった柿崎家の末裔の方には寄贈をした。また、ウエノテックスにも設置している。

【唐澤班長】

他に質疑を求めるが無いので、地域活動支援事業成果報告を以上とする。

会長に議事の進行を依頼する。

【佐藤会長】

続いて、次第4報告事項の市からの報告事項「地域協議会委員公募結果について」事

務局に説明を求めらる。

【唐澤班長】

地域協議会委員の公募結果について説明する。結果については、すでに新聞等でご存じかと思うが、28区の自治区で定数390人のところ、319人から応募をいただいた。定数に達しなかった区が16区、定数を越えた区が高田区の1区である。高田区では、4月24日に選任投票が行われる予定である。定数に達しなかった区では、追加選任候補者の決定に向けて手続きを進めている。

選任投票や追加選任、資格審査を経て、委員の選任結果の告示は4月26日を予定している。

【佐藤会長】

意見や質問を求めらるが無かったので、次第5その他に入る。

【大場G長】

～ 平成28年4月1日付け人事異動内示について説明 ～

【唐澤班長】

～ 上越青年会議所講演会の案内 ～

～ 情報紙「ウィズじょうえつ」の案内 ～

【木下委員】

引継ぎ事項として1点お願いしたい。今年度は、地域活動支援事業の成果報告を地域協議会の中で行ったが、資料である事業結果概要書の提出が非常に遅れていたのではないかと感じている。事務局の事業の運用方法を考慮しながら、事業結果概要書の提出期限を決めるなど、検討してもらいたい。

今年度の成果報告では事業結果概要書を配布してもらおうようになったが、非常にすっきりとしていたし、分かりやすかったと考えている。

【佐藤会長】

最後に私からお願いしたい。我々、地域協議会委員の任期は、平成 28 年 4 月 28 日までとなっており、本来であれば、次回の地域協議会が最後となるはずだが、以前から申し上げているように、4 月の地域協議会については、緊急に審議しなくてはならない、重要な案件が無い限り開催しないこととする。

会議の閉会を宣言。

(午後 5 時 05 分 閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL : 025-536-6701 (直通)

E-mail : kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

会議資料はありません。

この記載に誤りのないことを証するためここに署名する。

平成 年 月 日

会議録署名委員